

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山 長藤
 直通：092-643-3597
 内線：3066

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第33週（令和6年8月12日～令和6年8月18日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・第33週は、お盆休みがあったため、多くの定点把握疾患の報告数が前週より減少しています。
- ・マイコプラズマ肺炎の報告数が例年より多い状況です。本疾患は、肺炎マイコプラズマという細菌の感染により起こります。小児や若い人の肺炎の原因としては比較的多く、通常2～3週間の潜伏期間の後、発熱、全身倦怠感、頭痛等の初期症状が現れます。咳は、初期症状出現後3～5日で始まることが多く、解熱後も長く（3～4週間）続きます。普段から流水と石けんによる手洗いをすることが大切です。また、感染した場合は、家族間でもタオルの共用は避け、咳の症状がある場合にはマスクを着用する等“咳エチケット”を守りましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	10	572	232	9,332
腸管出血性大腸菌感染症	3	99	125	1,773
A型肝炎	1	7	2	94
アメーバ赤痢	1	20	4	336
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	74	34	1,211
急性脳炎	1	17	3	331
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	53	23	1,333
水痘（入院例）	1	19	7	291
梅毒	14	516	196	8,615
百日咳	6	63	74	999

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,422	7.18	0.84	49,208	10.48
インフルエンザ	45	0.23	0.60	1,768	0.38
RSウイルス感染症	122	1.02	0.50	4,341	1.45
咽頭結膜熱	30	0.25	0.81	1,265	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	202	1.68	0.52	5,511	1.84
感染性胃腸炎	191	1.59	0.72	8,110	2.70
水痘	27	0.23	3.00	454	0.15
手足口病（警報レベル）	383	3.19	0.67	23,693	7.89
伝染性紅斑	2	0.02	0.50	437	0.15
突発性発しん	31	0.26	0.94	791	0.26
ヘルパンギーナ	65	0.54	0.44	3,917	1.30
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	120	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	7	0.01
流行性角結膜炎	2	0.08	1.00	276	0.43
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	12	0.03
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	22	0.05
マイコプラズマ肺炎	13	0.87	1.08	546	1.14
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	8	0.02

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。